

# BUSINESS REPORT 2019

第63期 中間報告書

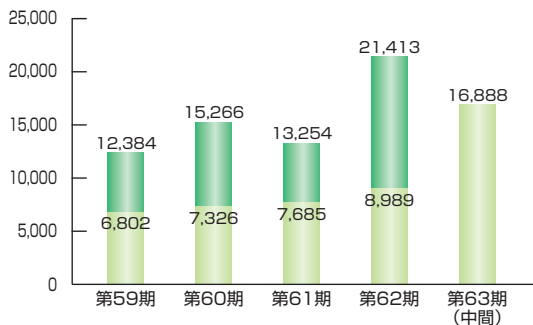
2018.4.1~2018.9.30



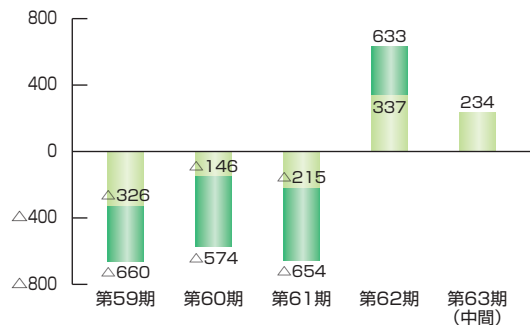
株式会社田中化学研究所

# 財務ハイライト

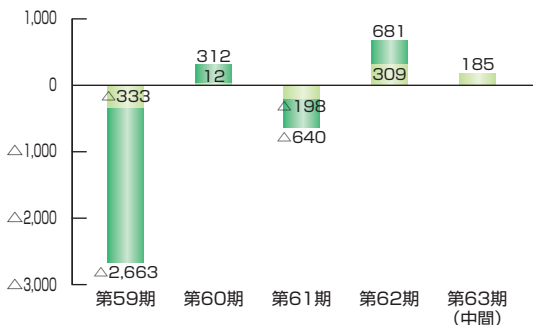
売上高 通期 中間 (単位：百万円)



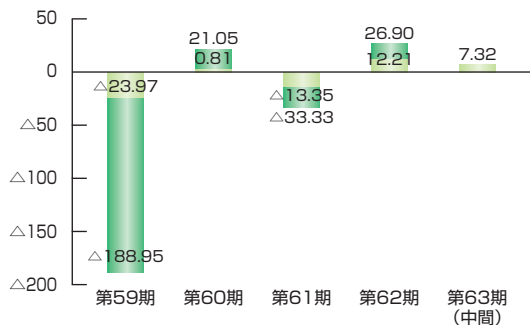
経常利益 通期 中間 (単位：百万円)



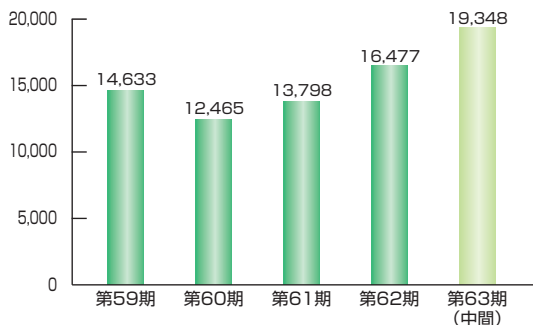
中間(当期)純利益 通期 中間 (単位：百万円)



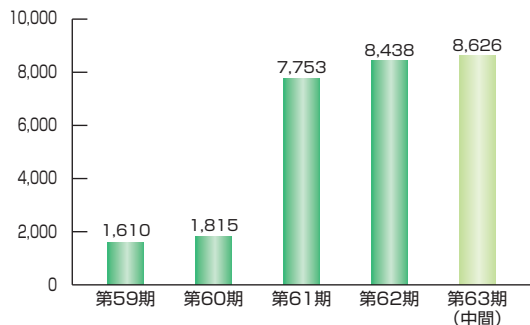
1株当たり中間(当期)純利益 通期 中間 (単位：円)



総資産 (単位：百万円)



純資産 (単位：百万円)



## 株主の皆様へ

平素より格別のご理解とご支援を賜り、心から御礼申し上げます。

当社の第63期中間期（2018年4月1日から2018年9月30日まで）の事業の概況及び中間決算の状況につきまして、ご報告申し上げます。

株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご指導ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

2018年11月



株式会社田中化学研究所  
代表取締役 社長執行役員

**茂苺 雅宏**

## 事業の概況

当中間期における二次電池業界は、環境対応車用途の市場拡大に対して増産体制や新たなサプライチェーンの構築など関連するメーカーにおいて対応が活発化しております。

このような市場環境の中、前年第3四半期より環境対応車用途の新製品の量産納入が開始されたことから、販売数量は前年第4四半期以降、各四半期ベースでは増加基調で推移しております。また、顧客からの増産要請が高まる中でさらなる増産体制構築のため、昨年決定した第一期投資の原料溶解設備に加えて、第二期投資として製品生産設備及び工場のインフラ設備の増強を決定しております。しかしながら、足下の業績は期初より主要なケミカル材料や電力料金の値上げの受入れを余儀なくされ、大幅なコスト上昇要因となっている一方、これらコスト上昇部分の販売先との価格改定交渉に時間を要しており、採算面では厳しい状況が続いております。

また、当社製品の主原料であるニッケル及びコバルトの国際相場において、ニッケルは前期より、またコバルトは前々年第2四半期より当年第1四半期にかけて上昇を続け、かつ上げ幅も大きく推移した結果、当年第1四半期間では大幅な利益の押し上げ要因となりました。しかし、長期にわたり上昇を続けていた相場も当第2四半期にかけてはニッケルで10%強、コバルトで20%強の下落があったことから、当第2四半期間における同要因による利益影響は軽微となっております。

以上の結果、売上高16,888百万円（前年同四半期比87.9%増）、営業利益219百万円（前年同四半期比41.3%減）、経常利益234百万円（前年同四半期比30.6%減）、四半期純利益は185百万円（前年同四半期比40.1%減）となりました。

主要な品目別の販売数量の概況は以下のとおりであります。なお、当社は二次電池事業の単一セグメントであるため、セグメントごとに記載しておりません。

#### 「リチウムイオン電池向け製品」

前年同四半期比で54.8%の増加となりました。用途別の増減は次のとおりであります。

- ・環境対応車用途は、前年第3四半期より新製品の販売が開始され、前年第4四半期からの四半期ベースでは増加基調で推移し、前年同四半期比で576.0%の増加となりました。
- ・民生用途は、生産設備の一部を環境対応車用途へと転換させたことにより、前年同四半期比で12.2%の減少となりました。

#### 「ニッケル水素電池向け製品」

前年同四半期比で4.4%の増加となりました。用途別の増減は次のとおりであります。

- ・環境対応車用途は、主要顧客からの受注が増加基調で推移しており、前年同四半期比で9.1%の増加となりました。
- ・民生用途は販売数量自体、他の製品分野と比較すると限定的ではありますが受注量が減少しており、前年同四半期比で17.5%の減少となりました。

#### 【ご参考】

（ニッケル国際相場：円換算）

（単位：円/kg）

	4~6月平均	7~9月平均	10~12月平均	1~3月平均
2019年3月期	1,592	1,489	—	—
2018年3月期	1,037	1,178	1,320	1,452

（コバルト国際相場：円換算）

（単位：円/kg）

	4~6月平均	7~9月平均	10~12月平均	1~3月平均
2019年3月期	10,429	8,741	—	—
2018年3月期	6,965	7,324	8,059	9,456

※ニッケル LME（ロンドン金属取引所）月次平均×TTS月次平均  
コバルト LMB（ロンドン発行メタルブリテン誌）月次平均×TTS月次平均

# 製品情報

当社の主要製品である正極材料は、リチウムイオン電池やニッケル水素電池等の「高性能二次電池」に使われています。リチウムイオン電池、ニッケル水素電池ともに、業界での確固たる地位を築き、常に市場をリードしています。

乾電池型二次電池

環境対応車

ノートパソコン

パワーツール

**(株)田中化学研究所の電池材料**

		
水酸化ニッケル	水酸化ニッケル (コバルトコート品)	三元系正極材料

**6つのコア技術**

1：粒子形状制御技術	4：結晶制御技術	
2：複数元素共沈技術	5：表面コーティング技術	
3：粒子径制御技術	6：化学酸化技術	

# 個別財務諸表

## 貸借対照表

(単位：千円)

科目	前期 (2018年3月31日現在)	当中間期 (2018年9月30日現在)
(資産の部)		
流動資産	11,364,290	12,555,202
現金及び預金	945,108	2,042,586
受取手形及び売掛金	3,109,448	4,044,671
電子記録債権	121,282	218,632
商品及び製品	1,020,960	1,850,702
仕掛品	1,611,171	1,556,288
原材料及び貯蔵品	1,946,563	1,567,716
グループ預け金	2,000,000	1,000,000
その他	609,753	274,603
固定資産	5,113,013	6,793,399
有形固定資産	4,873,299	6,570,218
無形固定資産	10,131	8,614
投資その他の資産	229,583	214,566
その他	230,034	215,017
貸倒引当金	△ 451	△ 451
資産合計	16,477,303	19,348,602

科目	前期 (2018年3月31日現在)	当中間期 (2018年9月30日現在)
(負債の部)		
流動負債	5,464,897	8,379,947
支払手形及び買掛金	3,184,131	5,433,591
1年内返済予定の長期借入金	300,000	300,000
未払法人税等	92,131	53,894
引当金	127,006	137,875
その他	1,761,628	2,454,586
固定負債	2,573,899	2,341,729
長期借入金	2,400,000	2,250,000
その他	173,899	91,729
負債合計	8,038,797	10,721,677
(純資産の部)		
株主資本	8,419,239	8,604,630
資本金	5,779,021	5,779,021
資本剰余金	3,286,500	3,286,500
利益剰余金	△ 644,266	△ 458,813
自己株式	△ 2,015	△ 2,077
評価・換算差額等	19,267	22,294
その他有価証券評価差額金	19,267	22,294
純資産合計	8,438,506	8,626,924
負債純資産合計	16,477,303	19,348,602

## 損益計算書 (要旨)

(単位：千円)

科目	前中間期 (自2017年4月1日 至2017年9月30日)	当中間期 (自2018年4月1日 至2018年9月30日)
売上高	8,989,443	16,888,665
売上原価	7,915,484	15,783,409
売上総利益	1,073,958	1,105,255
販売費及び一般管理費	700,180	885,945
営業利益	373,778	219,310
営業外収益	5,354	31,928
営業外費用	41,416	16,994
経常利益	337,715	234,244
特別利益	505	4,676
特別損失	869	3,847
税引前中間純利益	337,351	235,074
法人税、住民税及び事業税	27,800	19,397
法人税等調整額	△ 90	30,222
中間純利益	309,642	185,453

## キャッシュ・フロー計算書 (要旨)

(単位：千円)

科目	前中間期 (自2017年4月1日 至2017年9月30日)	当中間期 (自2018年4月1日 至2018年9月30日)
I 営業活動によるキャッシュ・フロー	768,616	1,665,655
II 投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 91,044	△ 1,354,200
III 財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 205,643	△ 218,791
IV 現金及び現金同等物に係る換算差額	3,308	4,813
V 現金及び現金同等物の増減額	475,237	97,477
VI 現金及び現金同等物の期首残高	4,521,968	2,945,108
VII 現金及び現金同等物の中間期末残高	4,997,205	3,042,586

## 会社概要 (2018年9月30日現在)

商号 株式会社田中化学研究所  
 設立 1957年12月  
 資本金 5,779,021千円  
 主な事業内容 二次電池用の正極材料の製造販売  
 従業員数 217名 (前事業年度比25名増)

## 役員の担当状況 (2018年9月30日現在)

代表取締役社長執行役員 茂 苅 雅 宏 (営業・原料資材担当)  
 代表取締役副社長執行役員 大 畑 尚 志 (内部監査・総務人事・経営管理・設備・情報開示担当)  
 取締役 久 野 和 雄  
 取締役 小 坂 伊 知 郎  
 取締役 田 中 浩 守 (製造・製造技術・物流企画・IR担当)  
 執行役員 嶋 川 守 学 (技術開発担当 兼 営業・原料資材担当役員補佐)  
 執行役員 田 中 根 堅 (品質保証担当 兼 技術開発担当役員補佐)  
 常勤監査役 大 嶋 哲 夫  
 監査役 増 田 仁 芳  
 監査役 篠 原 芳 明

## 株式の状況 (2018年9月30日現在)

- ①発行可能株式総数 普通株式 47,000,000株  
 ②発行済株式の総数 普通株式 25,350,800株  
 ③株主数 12,613名  
 ④大株主の状況 (上位10名)

株主名	持株数(株)	持株比率(%)
住友化学株式会社	12,700,000	50.10
田中 保	1,264,200	4.99
株式会社三菱UFJ銀行	460,000	1.81
田中 浩	300,000	1.18
株式会社福井銀行	300,000	1.18
住友商事株式会社	250,000	0.99
住友生命保険相互会社	210,000	0.83
田中 学	171,000	0.67
田中 健	171,000	0.67
田中 恵子	169,200	0.67

(注) 持株比率は自己株式(1,086株)を控除して計算しております。

## 株主メモ

事業年度	4月1日～翌年3月31日
期末配当金受領株主確定日	3月31日
定時株主総会	毎年6月
株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号 Tel : 0120-094-777 (通話料無料)
上場証券取引所	東京証券取引所 (JASDAQ市場)
公告方法	電子公告により行う 公告掲載URL <a href="http://www.tanaka-chem.co.jp/">http://www.tanaka-chem.co.jp/</a> (ただし、電子公告によることができない事故、 その他のやむを得ない事由が生じた場合には、 日本経済新聞に公告いたします。)

## ホームページのご案内



田中化学研究所ホームページ  
<http://www.tanaka-chem.co.jp/>  
最新の当社IR情報等をご覧いただけます。

## お知らせ

### 株券電子化によるご注意

- (1)株券電子化に伴い、株主様の住所変更、単元未満株式の買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- (2)特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関（三菱UFJ信託銀行）にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。
- (3)未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。